

2021年6月11日 NO.46 発行責任者 後藤 修 編集責任者 情 宣 部

2021年度夏季手当

本部青年部は6月11日、本社に対して「2021年度夏季手当満額回答を 求める要請行動」を行ない、青年部の声を怒布とともにぶつけてきました!!

- ・春闘交渉時点で会社の計画は赤字の見通しだったが、この間の 青年部員の必死の頑張りによって2021年3月期決算では、 連結・単体共に黒字となった。会社は「業績還元は賞与で行う」 と言っている。黒字なら夏季手当で青年部員の頑張りに報いる べきだ!!
- ・新型コロナウイルス感染症が蔓延するなか、公私共に感染対策 を徹し、「指定公共機関」として安全・安定輸送の責務を全う してきた。その青年部員の労苦と奮闘を経営陣は言葉だけでは なく満額回答で示せ!!
- ・職場設備は老朽化し、安全に日々の業務ができる環境には至っ ていない。<u>女性用設備の整備も後手に回っている。</u>そういった 労働環境のなか業務を行なっている実態を会社は認識している のか!!
- 年度初の計画値より収入が落ち込んでいることやコロナ禍であ るにも関わらず、あえてコロナ禍前の2019年度との経営状 況を比較し、経営の厳しさと先行き不透明を映し出し 抑制する姿勢は絶対に許されない。高い計画を立てたのは経営 陣の問題であり青年部員の問題では無い!!

今までの労苦を会社に報いさせるため 青年部が怒りの声をあげ山場の闘いをつくっていこう!!

JR貨物労組青年部